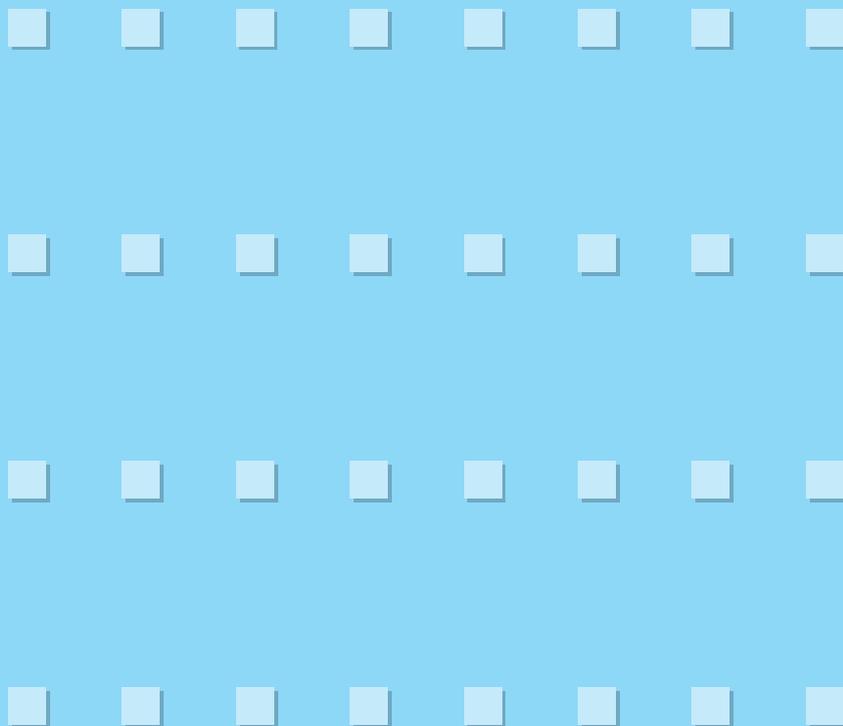


# VII

『学習のしおり2014』より再掲（参考）

## 2013年度からの 変更点について

（対象：2012年度以前入学者）



# 1

## 2013年4月からのカリキュラム変更・各種制度の変更について

2013年4月からカリキュラム・各種制度を変更しています。これに伴い、一部の科目を新しいカリキュラムの科目に読替えます。また、変更にあたり経過措置を設ける場合があります。変更等の内容は、P.128以降を参照してください。

これらの科目読替え・制度変更は、特に記載があるものを除いて、前期生・後期生を問わず、通信教育部に在籍する全ての方を対象に、2013年4月から適用されています。2013年4月以降に復籍・再入学された方も新しいカリキュラムが適用され、復籍・再入学前に単位を修得した科目を読替える場合があります。

なお、ここに掲載する内容は、これまでに『2013年4月大きく変わる法政大学通信教育部～カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置等について（お知らせ）～』等でお知らせしたものをまとめたものです。

また、2013年4月からのメディアスクーリングの拡充をはじめとした各種制度の変更については、次頁を参照してください。

## ●各種制度の変更の概要

項 目	変更の概要
メディアスクーリングの拡充・開講形態の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアスクーリングの科目数の増加（2013年度から5カ年計画）</li> <li>・市ヶ谷キャンパスでの最終講義・最終試験の廃止 （試験は「メディアスクーリング試験」又は「レポート試験」として実施）</li> </ul>
卒業論文に関する変更 ※2014年3月卒業から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業要件を充足した場合は、本人の意思にかかわらず卒業〈法・経済学部〉 （ただし、年度途中で卒業する場合は申請が必要）</li> <li>・「卒業申請」手続の廃止〈全学部〉</li> </ul>
年間履修単位数の上限の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間履修単位：49単位まで（2012年度までは40単位） ※教職・資格科目履修時は、合計60単位まで</li> <li>・年間スクーリング登録単位：49単位まで（2012年度までは36単位） ※49単位には教職・資格科目を含む</li> </ul>
スクーリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末スクーリングの拡大</li> <li>・ゴールデンウィーク（GW）スクーリングの新設</li> <li>・地方スクーリングの開講場所の変更（札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡）</li> </ul>
学習フォロー体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習のシラバスの作成・公表</li> </ul>
レポート提出の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の同一科目・設題の提出回数：3回まで</li> <li>・年間のレポート受付回数：12回（2012年度までは15回）</li> </ul>
単位修得試験の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験結果が不合格の場合のみ同一科目の再受験が可能 （ただし、試験結果が判明しない場合は再受験が可能）</li> <li>・試験に欠席した場合は次回以降の受験が可能</li> <li>・試験範囲の事前公表（適切と判断した科目のみ）</li> </ul>
在学年限（12年）の見直し	<p>〈2002年度以前入学者、2003年度2・3年次編入学者、2004年度3年次編入学者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度以降に「卒業計画書」の提出</li> <li>・在籍期間は最長2026年度末まで</li> </ul> <p>〈2003年度以降入学者〉（2003年度2・3年次編入学者、2004年度3年次編入学者を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「再度の入学」制度の導入</li> <li>・「再度の入学」後の在学期間は、休学期間を除き12年</li> </ul>
スクーリング受講料の改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア：1科目20,000円（2012年度までは30,000円）</li> <li>・春・夏・秋・冬期、週末、（GW）：1科目15,000円（2012年度までは10,000円） ※地方スクーリングは据え置き（1科目20,000円）</li> </ul>

## (1) 教養課程 (一般教育科目、外国語及び保健体育科目)

### 《2013年4月から》

一般教育	36単位以上
人文分野	2科目8単位以上
社会分野	8単位以上
自然分野	4科目8単位以上
基礎特講	最大4単位まで
放送大学単位認定科目	最大10単位まで
外国語	1外国語4単位 (うちスクーリング2単位以上)
保健体育	2単位
合計	42単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考	
			人文分野				
	○		文学	4	1	} 2科目8単位以上 必修	
	○		西洋史	4	1		
	○		日本史	4	1		
	○		哲学	4	1		
	○		東洋史	4	1		
	○		論理学	4	1		
			社会分野				
	○		法学 (日本国憲法)	2	1	} 8単位以上 必修	
	○		法学	2	1		
	○		経済学	4	1		
	○		人文地理学	4	1		
	○		自然地理学	4	1		
	○		政治学概論	4	1		
	○		社会学	4	1		
	○		文化人類学	4	1		
	○		心理学	4	1		
	○		心理学	4	1		
			自然分野				
	○		数学1	2	1	} 4科目8単位以上 必修	
	○		数学2	2	1		
	○		数学3	2	1		
	○		生物学1	2	1		
	○		生物学2	2	1		
	○		生物学3	2	1		
	○		化学1	2	1		
	○		化学2	2	1		
	○		化学3	2	1		
	○		物理学1	2	1		
	○		物理学2	2	1		
	○		物理学3	2	1		
	○		基礎特講	2	1		4単位まで履修可
			放送大学単位認定科目				最大10単位まで
			外国語科目				
	○		英語2	2	1	} いずれか 1外国語4単位 (うちスク2単位以上) 必修	
	○		英語3	2	1		
	○		英語S	1×2	1		
	○		独語1	2	1		
	○		独語S	1×2	1		
	○		仏語1	2	1		
	○		仏語S	1×2	1		
			保健体育科目				
	○		健康・スポーツ科学概論	2	1	} いずれか 1科目2単位	
	○		スポーツ総合演習	2	1		

※2013年3月末で廃止：地理学、自然科学史 (2013年4月以降経過措置あり)  
 ※地理学を履修途中・修得済の場合、人文地理学、自然地理学を履修することはできません。

## 《2013年3月まで》

一般教育 36単位以上

人文分野	2科目8単位以上
社会分野	2科目8単位以上
自然分野	2科目8単位以上
基礎特講	最大4単位まで
放送大学単位認定科目	最大10単位まで
外国語	1外国語4単位（うちスクーリング2単位以上）
保健体育	2単位
合計	42単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
			人文分野			
	○		文学	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		歴史Ⅰ（西洋史）	4	1	
	○		歴史Ⅱ（日本史）	4	1	
	○		哲学	4	1	
	○		心理学	4	1	
			社会分野			
	○		法学（日本国憲法2単位含む）	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		経済学	4	1	
	○		地理学	4	1	
	○		政治学概論	4	1	
	○		社会学	4	1	
	○		文化人類学	4	1	
			自然分野			
	○		数学	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		生物学	4	1	
	○		化学	4	1	
	○		物理学	4	1	
	○		自然科学史	4	1	
		○	基礎特講	2	1	4単位まで履修可
			放送大学単位認定科目			最大10単位まで
			外国語科目			
	○		英語2	2	1	} いずれか 1外国語4単位 (うちスク2単位以上) 必修
	○		英語3	2	1	
	○		英語S	1×2	1	
	○		独語1	2	1	
	○		独語S	1×2	1	
	○		仏語1	2	1	
	○		仏語S	1×2	1	
			保健体育科目			
	○		健康・スポーツ科学概論	2	1	} いずれか 1科目2単位
	○		スポーツ総合演習	2	1	

## カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置（一般教育科目、外国語及び保健体育科目）

### 1. 科目の読替え・経過措置に関すること

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選択	選択								
人文分野（分野で2科目8単位必修）										
	○		文 学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
	○		歴史Ⅰ （西洋史）	4	1	「西洋史」に名称変更する	変更なし （「歴史Ⅰ（西洋史）」を修得したものとする）	「西洋史」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「西洋史」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○		歴史Ⅱ （日本史）	4	1	「日本史」に名称変更する	変更なし （「歴史Ⅱ（日本史）」を修得したものとする）	「日本史」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本史」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○		哲 学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
	○		心 理 学	4	1	社会分野に分野変更する	変更なし （人文分野の科目として取扱う）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①2015年3月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日）までに4単位修得した場合は、変更なし（人文分野の科目として取扱う） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限る ②2015年3月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日）4単位修得しなかった場合は、2015年4月1日以降、社会分野の科目として取扱う（学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる）	社会分野の科目として履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、離籍（除籍又は退学）前に修得した単位を社会分野の科目で修得した単位として取扱う

社会分野（分野で8単位必修）

○	法学 (日本国憲法 2単位含む)	4	1	2単位科目(「法学 (日本国憲法)」「法 学」)に変更する	変更なし (「法学(日本国憲法 2単位含む)」を修得 したものとす)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出(免除を含む)がある場合に限る)は、 《2年間の経過措置》(2015年3月31日まで)を設ける  ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間は、以下の学習を行うことができる ・「法学(日本国憲法2単位含む)」のレポート提出 ・「法学(日本国憲法2単位含む)」の単位修得試験 受験 ・「法学(日本国憲法)」のスクーリング受講 経過措置期間終了日までに、上記に合格し2単位 修得した場合、修得済の2単位と合計して「法学 (日本国憲法2単位含む)」4単位修得とする 経過措置期間終了日までに、2単位修得できない 場合、2015年4月1日付で、修得済の2単位の科目 を「法学」に読替える(履修途中の学習履歴がある 場合はその履歴を無効にする)  ②4単位を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間は、「法学(日本国憲法2単位含む)」 のレポート提出及び単位修得試験ができる 経過措置期間終了日までに、4単位修得した場 合は有効(「法学(日本国憲法2単位含む)」4単位を 修得したものとす) 経過措置期間終了日までに、4単位修得しなかつ た場合は、学習履歴を無効にする	「法学(日本国憲法)」「 法学」を履修する	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降も、左記のと おり取扱う
○	経済学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
○	地理学	4	1	科目を廃止する	変更なし (「地理学」を修得し たものとす)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出(免除を含む)がある場合に限る)は、 《2年間の経過措置》(2015年3月31日まで)を設ける  ①2015年3月31日までに4単位修得した場合は、有効 とする(「地理学」4単位を修得したものとす) ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最 終提出日(前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日) までに提出されたものに限る  ②経過措置期間終了日(2015年3月31日)までに4単 位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	新規履修はできない	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、左記のと おり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 (詳細は右記参照)	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中(※1)の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手(※2)の場合	備考(※3)
必修	選必	選択								
	○		政治学概論	4	1	※変更なし	-	-	-	-
	○		社会学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
	○		文化人類学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
自然分野（分野で8単位必修）										
	○		数 学	4	1	2単位科目に変更する 変更なし 〔「数学」を修得したものとする〕	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（数学1・数学2・数学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（数学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（数学3）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、数学3の重複受講はできない） ②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする	「数学1」「数学2」「数学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う	

○	生物学	4	1	2単位科目に変更する	<p>変更なし          (「生物学」を修得したものとす)</p>	<p>2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限る)は、《2年間の経過措置》(2015年3月31日まで)を設ける</p> <p>①スクーリングで2単位修得済の場合          経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目(生物学1・生物学2・生物学3)を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目(生物学)4単位修得と読替える(その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる)</p> <p>経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目(生物学3)の2単位として読替える(その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、生物学3の重複受講はできない)</p> <p>②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合          経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとす          経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする</p>	<p>「生物学1」「生物学2」「生物学3」を履修する</p>	<p>2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う</p>
---	-----	---	---	------------	---	---	--------------------------------	---

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
	○		化学	4	1	2単位科目に変更する	変更なし （「化学」を修得したものとする）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（化学1・化学2・化学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（化学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（化学3）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、化学3の重複受講はできない） ②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする	「化学1」「化学2」「化学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

○	物理学	4	1	2単位科目に変更する	変更なし 〔「物理学」を修得した ものとする〕	<p>2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける</p> <p>①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（物理学1・物理学2・物理学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（物理学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（物理学2）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、物理学2の重複受講はできない）</p> <p>②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする</p>	「物理学1」「物理学2」「物理学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	自然科学史	4	1	科目を廃止する	変更なし 〔「自然科学史」を修得した ものとする〕	<p>2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける</p> <p>①2015年3月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日）までに4単位修得した場合は、有効とする（「自然科学史」4単位を修得したものとする） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限る</p> <p>②経過措置期間終了日（2015年3月31日）までに4単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする</p>	新規履修はできない	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降も、左記のとおり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必修区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 (詳細は右記参照)	2013年3月31日以前 に、科目構成単位を 修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中(※1)の場合	2013年3月31日時点で、 学習未着手(※2)の場合	備考(※3)
必修	選択	選択								
		○	基礎特講	2	1	※変更なし	-	-	-	-
			放送大学単位 認定科目			※変更なし	-	-	-	-
外国語科目（いずれか1外国語4単位（うちスクーリングで2単位以上）必修）										
		○	英語	2	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	英語	3	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	英語	S	1	2	1	※変更なし	-	-
		○	独語	1	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	独語	S	1	2	1	※変更なし	-	-
		○	仏語	1	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	仏語	S	1	2	1	※変更なし	-	-
保健体育科目（いずれか1科目2単位必修）										
		○	健康・スポーツ 科学概論	2	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	スポーツ 総合演習	2	2	1	※変更なし	-	-	-

- ※1 「履修途中」とは、科目構成単位を充たしていないが、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）があることをいいます。なお、この場合のレポート提出は、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限り、最終提出日後に提出された場合は、「履修途中」として取扱いません。
- ※2 「学習未着手」とは、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）がないことをいいます。なお、この場合のレポート提出がないことは、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されていないことに限り、
- ※3 復籍・再入学においては、修得単位として評価を得られなかった履修途中科目の学習履歴は、復籍・再入学後に引き継がれません（従来どおり）。

## 2. その他

項目	変更内容等
科目の新設	2013年4月から、以下の科目を新設する 「人文地理学」「自然地理学」「東洋史」「論理学」
社会分野の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） <変更前> 2科目8単位以上 <変更後> 8単位以上
自然分野の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） <変更前> 2科目8単位以上 <変更後> 4科目8単位以上 ※ただし、変更前に旧カリキュラム科目で単位修得した場合は、旧カリキュラム科目（4単位）につき2科目履修したものとみなす この場合、「数学」「化学」「生物学」「物理学」「自然科学史」のうちの複数の分野の科目の単位を修得することを要する

日本文学科では、2013年度より文学・言語・芸能文化という3つのコースを定めます。  
 コースの概要や選択については、P.72を参照してください。

## ②文学部日本文学科（文学コース）

### 《2013年4月から》

必修	20単位
選択必修	20単位以上
選択	24単位以上
卒業論文	8単位
合計	82単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
○			卒業論文	8	4	
○			日本文芸学概論	4	1	
○			日本文芸史Ⅰ	4	2	
○			日本語学概論	4	1	
○			文学概論	4	2	
○			日本文芸史Ⅱ	4	2	
	○		日本文芸研究特講・上代	4	1	20単位以上必修 20単位を超えて修得した場合、選択科目の修得単位とする
	○		日本文芸研究特講・中古	4	1	
	○		日本文芸研究特講・中世	4	1	
	○		日本文芸研究特講・近世	4	1	
	○		日本文芸研究特講・近代	4	1	
	○		日本文芸研究特講・現代	4	2	
	○		日本文芸研究特講・言語	4	2	
	○		日本文芸研究特講・漢文	4	1	
	○		日本文芸研究特講・韻文	2	2	
	○		日本文芸研究特講・演劇	2	2	
	○		日本文芸研究特講・児童文芸	2	2	
	○		日本文芸研究特講・沖縄文芸	2	2	
	○		日本文芸研究特講・地域	2	2	
	○		日本文芸研究特講・日本学	2	2	
	○		日本文芸研究特講・音楽芸能史	2	2	
	○		日本文芸研究特講・祭りと芸能	2	2	
		○	中国文芸史	4	2	
		○	西洋美術史	4	3	
		○	社会思想史	4	3	
		○	世界文芸思潮	4	3	
		○	書道史	2	3	
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	2単位まで履修可
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	2単位まで履修可
		○	日本語史	4	2	
		○	日本文法論	4	2	
		○	日本芸能史	4	2	
		○	日本美術史	4	2	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	(他学部・他学科公開科目)	2	2	16単位まで履修可

※2013年3月末で廃止：日本文芸特殊研究

《2013年3月まで》

必修	40単位
スクーリング必修	8単位
選択	26単位以上
卒業論文	8単位
合計	82単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
○			卒業論文	8	4	
○			日本文学概論	4	1	
○			日本文学史	4	2	
○			日本語学概論	4	2	
		○	日本文学特講2	4	3	
○			日本文学特殊研究	2×4	2	8単位必修
○			日本文学作品作家研究(古代)	4	2	
○			日本文学作品作家研究(中世)	4	3	
○			日本文学作品作家研究(近世)	4	3	
○			日本文学作品作家研究(近代)	4	2	
○			日本文学作品作家研究(現代)	4	3	
		○	漢文学	4	3	
		○	日本文学特講1	2	3	
		○	中国文芸史	4	3	
		○	西洋美術史	4	3	
		○	社会思想史	4	3	
		○	世界文芸思潮	4	3	
		○	書道史	2	3	
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	2単位まで履修可
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	2単位まで履修可
○			日本語史	4	3	
○			日本文法論	4	2	
		○	日本美術史	4	3	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	(他学部・他学科公開科目)	2	2	16単位まで履修可

## カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置（文学部日本文学科 文学コース）

### 1. 科目の読替え・経過措置に関すること

2012年度のカリキュラム				2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い						
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
○			卒業論文	8	4	※変更なし	-	-	-	-
○			日本文芸学概論	4	1	※変更なし	-	-	-	-
○			日本文芸史	4	2	「日本文芸史Ⅰ」に名称変更する	変更なし （「日本文芸史」を修得したものとする）	「日本文芸史Ⅰ」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本文芸史Ⅰ」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○			日本語学概論	4	2	履修学年を1年に引下げる	※変更なし	※変更なし	1年から履修できる	-
		○	日本文学特講2	4	3	「日本文芸史Ⅱ」に名称変更する 必修科目に区分変更する 履修学年を2年に引下げる	名称は変更しない 必修科目に変更する （「日本文学特講2」を必修科目として修得したものとする）	「日本文芸史Ⅱ」（必修科目）に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本文芸史Ⅱ」（必修科目）を履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○			日本文芸特殊研究	2×4	2	科目を廃止する	卒業判定時に最大28単位分を、新カリキュラムに充当（読替え）する ※詳細は、後掲の「日本文芸特殊研究読替えパターン」を参照	※該当なし	新規履修はできない	-
○			日本文芸作家研究（古代）	4	2	「日本文芸研究特講・中古」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下げる	名称は変更しない 選択必修科目に変更する （「日本文芸作家研究（古代）」を選択必修科目で修得したものとする）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、履修途中の単位数（4単位又は2単位）を問わず、「日本文芸研究特講・中古」（選択必修科目）に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位修得することはできない	「日本文芸研究特講・中古」（選択必修科目）を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

○		日本文芸作家研究 (中世)	4	3	「日本文芸研究特講・中世」に名称変更する 選択必修科目に区分 変更する 履修学年を1年に引下 る	名称は変更しない 選択必修科目に変更 する (「日本文芸作家研究 (中世)」を選択 必修科目で修得した ものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、 履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日 本文芸研究特講・中世」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修 得後、更に2単位修得することはできない	「日本文芸研究特講・ 中世」(選択必修科 目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に 復籍・再入学する場 合は、復籍・再入学 以降、左記のとおり 取扱う
○		日本文芸作家研究 (近世)	4	3	「日本文芸研究特講・近世」に名称変更する 選択必修科目に区分 変更する 履修学年を1年に引下 る	名称は変更しない 選択必修科目に変更 する (「日本文芸作家研究 (近世)」を選択 必修科目で修得した ものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、 履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日 本文芸研究特講・近世」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修 得後、更に2単位修得することはできない	「日本文芸研究特講・ 近世」(選択必修科 目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に 復籍・再入学する場 合は、復籍・再入学 以降、左記のとおり 取扱う
○		日本文芸作家研究 (近代)	4	2	「日本文芸研究特講・近代」に名称変更する 選択必修科目に区分 変更する 履修学年を1年に引 下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更 する (「日本文芸作家研究 (近代)」を選択 必修科目で修得した ものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートにつ いては2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は履修 途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず「日本文 芸研究特講・近代」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし履修途中の単位数が2単位の場合は2単位修得 後、更に2単位修得することはできない	「日本文芸研究特講・ 近代」(選択必修科 目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、左記のとおり 取扱う
○		日本文芸作家研究 (現代)	4	3	「日本文芸研究特講・現代」に名称変更する 選択必修科目に区分 変更する 履修学年を2年に引 下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更 する (「日本文芸作家研究 (現代)」を選択 必修科目で修得した ものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、 履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日 本文芸研究特講・現代」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位 修得後、更に2単位修得することはできない	「日本文芸研究特講・ 現代」(選択必修科 目)を履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、左記のとおり 取扱う
○	漢文学		4	3	「日本文芸研究特講・漢文」に名称変更する 選択必修科目に区分 変更する 履修学年を1年に引 下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更 する (「漢文学」を選択 必修科目で修得した ものとする)	「日本文芸研究特講・漢文」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「日本文芸研究特講・ 漢文」(選択必修科 目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、左記のとおり 取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 (詳細は右記参照)	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中(※1)の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手(※2)の場合	備考(※3)
必修	選必	選択								
		○	日本文学特講1	2	3	「日本文芸研究特講・演劇」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を2年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文学特講1」を選択必修科目で修得したものとす)	※該当なし	「日本文芸研究特講・演劇」(選択必修科目)を履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	中国文芸史	4	3	履修学年を2年に引下る	※変更なし	※変更なし	2年から履修できる	-
		○	西洋美術史	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	社会思想史	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	世界文芸思潮	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	書道史	2	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	日本語史	4	3	選択科目に区分変更する 履修学年を2年に引下る	選択科目に変更する	選択科目に区分変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	選択科目として履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	日本文法論	4	2	選択科目に区分変更する	選択科目に変更する	選択科目に区分変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	選択科目として履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	日本美術史	4	3	履修学年を2年に引下る	※変更なし	※変更なし	2年から履修できる	-
		○	総合特講	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	情報科学実習	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	総合外国語特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	スポーツ特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-

	○	※他学部・他 学科公開科目	2	2	※変更なし	-	-	-	-
--	---	------------------	---	---	-------	---	---	---	---

- ※注1 「履修途中」とは、科目構成単位を充たしていないが、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）があることをいいます。なお、この場合のレポート提出は、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限り、最終提出日後に提出された場合は、「履修途中」として扱いません。
- ※注2 「学習未着手」とは、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）がないことをいいます。なお、この場合のレポート提出がないことは、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されていないことに限ります。
- ※注3 復籍・再入学においては、修得単位として評価を得られなかった履修途中科目の学習履歴は、復籍・再入学後に引き継がれません（従来どおり）。

## 2. その他

項目	変更内容等
科目の新設	2013年4月から、以下の科目を新設する 「文学概論」 「日本文芸研究特講・上代」 「日本文芸研究特講・言語」 「日本文芸研究特講・韻文」 「日本文芸研究特講・児童文芸」 「日本文芸研究特講・沖縄文芸」 「日本文芸研究特講・特域」 「日本文芸研究特講・日本学」 「日本文芸研究特講・音楽芸能史」 「日本文芸研究特講・祭りと芸能」 「日本芸能史」
専門教育科目の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） <変更前> 必修 40単位 スクーリング必修 8単位 選択 26単位以上 卒業論文 8単位 <変更後> 必修 20単位 選択必修 20単位以上 選択 24単位以上 卒業論文 8単位

## 日本文芸特殊研究読替えパターン（文学コース）

日本文芸特殊研究（古代～現代）は今まで修得した単位の時代は問わず（日本文芸作品作家研究の単位には充当せず）、下記の表のとおり読替える

### 1. 卒業判定時に最大8単位分を、新設必修科目「文学概論」「日本文芸史Ⅱ」、新設選択科目「日本芸能史」、選択科目「日本美術史」の順に読替える（日本文芸特殊研究の、どの科目も同様）

- (1) 卒業判定時までに新設必修科目「文学概論」「日本文芸史Ⅱ」を修得していない場合

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	文学概論 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）
2単位	①	
4単位	①※1	
6単位	①	②
8単位	①	②

- (2) 卒業判定時までに「文学概論」を2単位修得した場合

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	文学概論 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）	日本芸能史 （4単位）
2単位	★ ①		
4単位	★ ①	②	
6単位	★ ①	②	
8単位	★ ①	②	③

- 4単位修得した場合

文学概論 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）	日本芸能史 （4単位）
★	①	
★	①	
★	①	②
★	①	②

- (3) 旧カリキュラム「日本文学特講2」を2単位修得している場合（「日本文芸史Ⅱ」を2単位修得していることを指す）

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	文学概論 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）	日本芸能史 （4単位）
2単位	①	★	
4単位	①	★	
6単位	①	★	②
8単位	①	★	② ③

- 4単位修得した場合

文学概論 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）	日本芸能史 （4単位）
①	★	
①	★	
①	★	②
①	★	②

※旧カリキュラム「日本文学特講2」を未修得かつ、卒業判定時までに「日本文芸史Ⅱ」を修得した場合も考え方は同様

履修科目・状況により、読替え内容が異なるが、考え方としては、(1)～(3)のパターンと同様

## 2. 日本文芸特殊研究（古代～現代）を8単位を超えて修得した場合、選択必修科目、選択科目へ読替える

卒業判定時まで「文学概論」「日本文芸史Ⅱ」「日本芸能史」「日本美術史」を各4単位修得した場合

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	文学概論 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）	日本芸能史 （4単位）	日本美術史 （4単位）	選択必修科目 （20単位）	選択科目
2単位	★	★	★	★	2単位	
4単位	★	★	★	★	4単位	
6単位	★	★	★	★	6単位	
8単位	★	★	★	★	8単位	
10単位	★	★	★	★	10単位	
⋮	★	★	★	★	⋮	
20単位	★	★	★	★	20単位	
22単位	★	★	★	★	20単位	2単位
24単位	★	★	★	★	20単位	4単位
26単位	★	★	★	★	20単位	6単位
28単位	★	★	★	★	20単位	8単位

※1 例) 新設必修科目を修得しておらず、「日本文芸特殊研究（古代～現代）」を4単位修得している場合は、「文学概論」の4単位に算入する

※2 ○の中の数字は読替えの優先順位

※3 ★は修得済単位

## 3. 28単位を超過した単位は卒業所要単位に算入しない（現行のとおり）

### ③文学部日本文学科（言語コース）

《2013年4月から》

必修	20単位
選択必修	20単位以上
選択	24単位以上
卒業論文	8単位
合計	82単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
○			卒業論文	8	4	
○			日本文芸学概論	4	1	
○			日本文芸史Ⅰ	4	2	
○			日本言語学概論	4	1	
○			日本言語史	4	2	
○			日本文法論	4	2	
	○		日本文芸研究特講・上代	4	1	20単位以上必修 20単位を超えて修得した 場合、選択科目の修得単 位とする
	○		日本文芸研究特講・中古	4	1	
	○		日本文芸研究特講・中世	4	1	
	○		日本文芸研究特講・近世	4	1	
	○		日本文芸研究特講・近代	4	1	
	○		日本文芸研究特講・現代	4	2	
	○		日本文芸研究特講・言語	4	2	
	○		日本文芸研究特講・漢文	4	1	
	○		日本文芸研究特講・韻文	2	2	
	○		日本文芸研究特講・演劇	2	2	
	○		日本文芸研究特講・児童文芸	2	2	
	○		日本文芸研究特講・沖縄文芸	2	2	
	○		日本文芸研究特講・特域	2	2	
	○		日本文芸研究特講・日本学	2	2	
	○		日本文芸研究特講・音楽芸能史	2	2	
	○		日本文芸研究特講・祭りと芸能	2	2	
		○	中国文芸史	4	2	
		○	西洋美術史	4	3	
		○	社会思想史	4	3	
		○	世界文芸思潮	4	3	
		○	書道史	2	3	
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	2単位まで履修可
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	2単位まで履修可
		○	文学概論	4	2	
		○	日本文芸史Ⅱ	4	2	
		○	日本芸能史	4	2	
		○	日本美術史	4	2	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	(他学部・他学科公開科目)	2	2	16単位まで履修可

※2013年3月末で廃止：日本文芸特殊研究

## 《2013年3月まで》

必修	40単位
スクーリング必修	8単位
選択	26単位以上
卒業論文	8単位
合計	82単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
○			卒業論文	8	4	
○			日本文芸学概論	4	1	
○			日本文芸史	4	2	
○			日本語学概論	4	2	
○			日本語史	4	3	
○			日本文法論	4	2	
○			日本文芸特殊研究	2×4	2	8単位必修
○			日本文芸作品作家研究（古代）	4	2	
○			日本文芸作品作家研究（中世）	4	3	
○			日本文芸作品作家研究（近世）	4	3	
○			日本文芸作品作家研究（近代）	4	2	
○			日本文芸作品作家研究（現代）	4	3	
		○	漢文学	4	3	
		○	日本文学特講1	2	3	
		○	中国文芸史	4	3	
		○	西洋美術史	4	3	
		○	社会思想史	4	3	
		○	世界文芸思潮	4	3	
		○	書道史	2	3	
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	2単位まで履修可
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	2単位まで履修可
		○	日本文学特講2	4	3	
		○	日本美術史	4	3	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	（他学部・他学科公開科目）	2	2	16単位まで履修可

カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置（文学部日本文学科 言語コース）

1. 科目の読替え・経過措置に関すること

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
○			卒業論文	8	4	※変更なし	-	-	-	-
○			日本文芸概論	4	1	※変更なし	-	-	-	-
○			日本文芸史	4	2	「日本文芸史Ⅰ」に名称変更する	変更なし （「日本文芸史」を修得したものとす）	「日本文芸史Ⅰ」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本文芸史Ⅰ」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○			日本語学概論	4	2	履修学年を1年に引下る	※変更なし	※変更なし	1年から履修できる	-
○			日本語史	4	3	履修学年を2年に引下る	※変更なし	※変更なし	2年から履修できる	-
○			日本文法論	4	2	※変更なし	-	-	-	-
○			日本文芸特殊研究	2×4	2	科目を廃止する	卒業判定時に最大28単位分を、新カリキュラムに充当（読替え）する ※詳細は、後掲の「日本文芸特殊研究読替えパターン」を参照	※該当なし	新規履修はできない	-
○			日本文芸作家研究（古代）	4	2	「日本文芸研究特講・中古」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する （「日本文芸作家研究（古代）」を選択必修科目で修得したものとす）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、履修途中の単位数（4単位又は2単位）を問わず、「日本文芸研究特講・中古」（選択必修科目）に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・中古」（選択必修科目）を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

○		日本文芸作家研究 (中世)	4	3	「日本文芸研究特講・中世」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文芸作家研究(中世)」を選択必修科目で修得したものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日本文芸研究特講・中世」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・中世」(選択必修科目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○		日本文芸作家研究 (近世)	4	3	「日本文芸研究特講・近世」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文芸作家研究(近世)」を選択必修科目で修得したものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日本文芸研究特講・近世」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・近世」(選択必修科目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○		日本文芸作家研究 (近代)	4	2	「日本文芸研究特講・近代」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文芸作家研究(近代)」を選択必修科目で修得したものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日本文芸研究特講・近代」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・近代」(選択必修科目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○		日本文芸作家研究 (現代)	4	3	「日本文芸研究特講・現代」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を2年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文芸作家研究(現代)」を選択必修科目で修得したものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日本文芸研究特講・現代」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・現代」(選択必修科目)を履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○	漢文学	4	3	「日本文芸研究特講・漢文」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「漢文学」を選択必修科目で修得したものとする)	「日本文芸研究特講・漢文」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「日本文芸研究特講・漢文」(選択必修科目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○	日本文学特講1	2	3	「日本文芸研究特講・演劇」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を2年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文学特講1」を選択必修科目で修得したものとする)	※該当なし	「日本文芸研究特講・演劇」(選択必修科目)を履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
		○	中国文芸史	4	3	履修学年を2年に引下る	※変更なし	※変更なし	2年から履修できる	-
		○	西洋美術史	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	社会思想史	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	世界文芸思潮	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	書道史	2	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	日本文学特講2	4	3	「日本文芸史Ⅱ」に名称変更する履修学年を2年に引下る	変更なし（「日本文学特講2」を修得したものとする）	「日本文芸史Ⅱ」に変更する学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本文芸史Ⅱ」を履修する2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	日本美術史	4	3	履修学年を2年に引下る	※変更なし	※変更なし	2年から履修できる	-
		○	総合特講	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	情報科学実習	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	総合外国語特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	スポーツ特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	※他学部・他学科公開科目	2	2	※変更なし	-	-	-	-

※注1 「履修途中」とは、科目構成単位を充たしていないが、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）があることをいいます。なお、この場合のレポート提出は、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限ります。最終提出日後に提出された場合は、「履修途中」として取扱いません。

※注2 「学習未着手」とは、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）がないことをいいます。

なお、この場合のレポート提出がないことは、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されていないことに限ります。

※注3 復籍・再入学においては、修得単位として評価を得られなかった履修途中科目の学習履歴は、復籍・再入学後に引き継がれません（従来どおり）。

## 2. その他

項目	変更内容等
科目の新設	2013年4月から、以下の科目を新設する 「文学概論」 「日本文芸研究特講・上代」 「日本文芸研究特講・言語」 「日本文芸研究特講・韻文」 「日本文芸研究特講・児童文芸」 「日本文芸研究特講・沖縄文芸」 「日本文芸研究特講・特域」 「日本文芸研究特講・日本学」 「日本文芸研究特講・音楽芸能史」 「日本文芸研究特講・祭りと芸能」 「日本芸能史」
専門教育科目の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） <変更前> 必修 40単位 スクーリング必修 8単位 選択 26単位以上 卒業論文 8単位 <変更後> 必修 20単位 選択必修 20単位以上 選択 24単位以上 卒業論文 8単位

## 日本文芸特殊研究読替えパターン（言語コース）

日本文芸特殊研究（古代～現代）は今まで修得した単位の時代は問わず（日本文芸作品作家研究の単位には充当せず）、下記の表のとおり読替える

### 1. 卒業判定時に最大8単位分を、新設科目「文学概論」「日本芸能史」、選択科目「日本文芸史Ⅱ」「日本美術史」の順に読替える（日本文芸特殊研究の、どの科目も同様）

- (1) 卒業判定時までに新設科目「文学概論」「日本芸能史」を修得していない場合

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	文学概論 （4単位）	日本芸能史 （4単位）
2単位	①	
4単位	①※1	
6単位	①	②
8単位	①	②

- (2) 卒業判定時までに「文学概論」を2単位修得した場合

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	文学概論 （4単位）	日本芸能史 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）
2単位	★ ①		
4単位	★ ①	②	
6単位	★ ①	②	
8単位	★ ①	②	③

- 4単位修得した場合

文学概論 （4単位）	日本芸能史 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）
★	①	
★	①	
★	①	②
★	①	②

- (3) 卒業判定時までに「日本芸能史」を2単位修得した場合

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	文学概論 （4単位）	日本芸能史 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）
2単位	①	★	
4単位	①	★	
6単位	①	★ ②	
8単位	①	★ ②	③

- 4単位修得した場合

文学概論 （4単位）	日本芸能史 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）
①	★	
①	★	
①	★	②
①	★	②

履修科目・状況により、読替え内容が異なるが、考え方としては、(1)～(3)のパターンと同様

## 2. 日本文芸特殊研究（古代～現代）を8単位を超えて修得した場合、選択必修科目、選択科目へ読替える

卒業判定時まで「文学概論」「日本芸能史」「日本文芸史Ⅱ」「日本美術史」を各4単位修得した場合

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	文学概論 （4単位）	日本芸能史 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）	日本美術史 （4単位）	選択必修科目 （20単位）	選択科目
2単位	★	★	★	★	2単位	
4単位	★	★	★	★	4単位	
6単位	★	★	★	★	6単位	
8単位	★	★	★	★	8単位	
10単位	★	★	★	★	10単位	
⋮	★	★	★	★	⋮	
20単位	★	★	★	★	20単位	
22単位	★	★	★	★	20単位	2単位
24単位	★	★	★	★	20単位	4単位
26単位	★	★	★	★	20単位	6単位
28単位	★	★	★	★	20単位	8単位

※1 例) 新設必修科目を修得しておらず、「日文特研（古代～現代）」を4単位修得している場合は、「文学概論」の4単位に算入する

※2 ○の中の数字は読替えの優先順位

※3 ★は修得済単位

## 3. 28単位を超過した単位は卒業所要単位に算入しない（現行のとおり）

#### ④文学部日本文学科（芸能文化コース）

《2013年4月から》

必修	20単位
選択必修	20単位以上
選択	24単位以上
卒業論文	8単位
合計	82単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
○			卒業論文	8	4	
○			日本文芸学概論	4	1	
○			日本文芸史Ⅰ	4	2	
○			日本語学概論	4	1	
○			日本芸能史	4	2	
○			日本美術史	4	2	
	○		日本文芸研究特講・上代	4	1	20単位以上必修  20単位を超えて修得した場合、選択科目の修得単位とする
	○		日本文芸研究特講・中古	4	1	
	○		日本文芸研究特講・中世	4	1	
	○		日本文芸研究特講・近世	4	1	
	○		日本文芸研究特講・近代	4	1	
	○		日本文芸研究特講・現代	4	2	
	○		日本文芸研究特講・言語	4	2	
	○		日本文芸研究特講・漢文	4	1	
	○		日本文芸研究特講・韻文	2	2	
	○		日本文芸研究特講・演劇	2	2	
	○		日本文芸研究特講・児童文芸	2	2	
	○		日本文芸研究特講・沖縄文芸	2	2	
	○		日本文芸研究特講・特域	2	2	
	○		日本文芸研究特講・日本学	2	2	
	○		日本文芸研究特講・音楽芸能史	2	2	
	○		日本文芸研究特講・祭りと芸能	2	2	
		○	中国文芸史	4	2	
		○	西洋美術史	4	3	
		○	社会思想史	4	3	
		○	世界文芸思潮	4	3	
		○	書道史	2	3	
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	2単位まで履修可
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	2単位まで履修可
		○	文学概論	4	2	
		○	日本文芸史Ⅱ	4	2	
		○	日本語史	4	2	
		○	日本文法論	4	2	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	(他学部・他学科公開科目)	2	2	16単位まで履修可

※2013年3月末で廃止：日本文芸特殊研究

## 《2013年3月まで》

必修	40単位
スクーリング必修	8単位
選択	26単位以上
卒業論文	8単位
合計	82単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
○			卒業論文	8	4	
○			日本文芸学概論	4	1	
○			日本文芸史	4	2	
○			日本語学概論	4	2	
○			日本文芸特殊研究	2×4	2	8単位必修
		○	日本美術史	4	3	
○			日本文芸作品作家研究（古代）	4	2	
○			日本文芸作品作家研究（中世）	4	3	
○			日本文芸作品作家研究（近世）	4	3	
○			日本文芸作品作家研究（近代）	4	2	
○			日本文芸作品作家研究（現代）	4	3	
		○	漢文学	4	3	
		○	日本文学特講1	2	3	
		○	中国文芸史	4	3	
		○	西洋美術史	4	3	
		○	社会思想史	4	3	
		○	世界文芸思潮	4	3	
		○	書道史	2	3	
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	2単位まで履修可
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	2単位まで履修可
		○	日本文学特講2	4	3	
○			日本語史	4	3	
○			日本文法論	4	2	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	（他学部・他学科公開科目）	2	2	16単位まで履修可

## カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置（文学部日本文学科 芸能文化コース）

### 1. 科目の読替え・経過措置に関すること

2012年度のカリキュラム				2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い						
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
○			卒業論文	8	4	※変更なし	-	-	-	-
○			日本文芸概論	4	1	※変更なし	-	-	-	-
○			日本文芸史	4	2	「日本文芸史Ⅰ」に名称変更する	変更なし （「日本文芸史」を修得したものとする）	「日本文芸史Ⅰ」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本文芸史Ⅰ」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○			日本語学概論	4	2	履修学年を1年に引下げる	※変更なし	※変更なし	1年から履修できる	-
○			日本文芸特殊研究	2×4	2	科目を廃止する	卒業判定時に最大28単位分を、新カリキュラムに充当（読替え）する ※詳細は、後掲の「日本文芸特殊研究読替えパターン」を参照	※該当なし	新規履修はできない	-
		○	日本美術史	4	3	必修科目に区分変更する 履修学年を2年に引下げる	必修科目に変更する	必修科目に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	必修科目として履修する 2年から履修できる	-
○			日本文芸作家研究（古代）	4	2	「日本文芸研究特講・中古」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下げる	名称は変更しない 選択必修科目に変更する （「日本文芸作家研究（古代）」を選択必修科目で修得したものとする）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、履修途中の単位数（4単位又は2単位）を問わず、「日本文芸研究特講・中古」（選択必修科目）に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・中古」（選択必修科目）を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

○		日本文芸作家研究 (中世)	4	3	「日本文芸研究特講・中世」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文芸作家研究(中世)」を選択必修科目で修得したものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日本文芸研究特講・中世」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・中世」(選択必修科目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○		日本文芸作家研究 (近世)	4	3	「日本文芸研究特講・近世」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文芸作家研究(近世)」を選択必修科目で修得したものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日本文芸研究特講・近世」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・近世」(選択必修科目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○		日本文芸作家研究 (近代)	4	2	「日本文芸研究特講・近代」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文芸作家研究(近代)」を選択必修科目で修得したものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日本文芸研究特講・近代」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・近代」(選択必修科目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○		日本文芸作家研究 (現代)	4	3	「日本文芸研究特講・現代」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を2年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文芸作家研究(現代)」を選択必修科目で修得したものとする)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限り)は、履修途中の単位数(4単位又は2単位)を問わず、「日本文芸研究特講・現代」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる ただし、履修途中の単位数が2単位の場合は、2単位修得後、更に2単位を修得することはできない	「日本文芸研究特講・現代」(選択必修科目)を履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○	漢文学	4	3	「日本文芸研究特講・漢文」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を1年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「漢文学」を選択必修科目で修得したものとする)	「日本文芸研究特講・漢文」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「日本文芸研究特講・漢文」(選択必修科目)を履修する 1年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○	日本文学特講1	2	3	「日本文芸研究特講・演劇」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する 履修学年を2年に引下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「日本文学特講1」を選択必修科目で修得したものとする)	※該当なし	「日本文芸研究特講・演劇」(選択必修科目)を履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
		○	中国文芸史	4	3	履修学年を2年に引下る	※変更なし	※変更なし	2年から履修できる	-
		○	西洋美術史	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	社会思想史	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	世界文芸思潮	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	書道史	2	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	論文作成基礎講座Ⅰ	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	論文作成基礎講座Ⅱ	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	日本文学特講2	4	3	「日本文芸史Ⅱ」に名称変更する 履修学年を2年に引下る	変更なし （「日本文芸史Ⅱ」を修得したものとする）	「日本文芸史Ⅱ」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本文芸史Ⅱ」を履修する	2013年3月31日以前に4単位修得せず離籍（除籍又は退学）し、2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学時に「日本文芸史Ⅱ」に変更する
○			日本語史	4	3	選択科目に区分変更する 履修学年を2年に引下る	選択科目に変更する	選択科目に区分変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	選択科目として履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○			日本文法論	4	2	選択科目に区分変更する	選択科目に変更する	選択科目に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	選択科目として履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	総合特講	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	情報科学実習	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	総合外国語特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-

○	スポーツ特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-
○	※他学部・他 学科公開科目	2	2	※変更なし	-	-	-	-

※注1 「履修途中」とは、科目構成単位を充たしていないが、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）があることをいいます。  
なお、この場合のレポート提出は、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限り、最終提出日後に提出された場合は、「履修途中」として取扱いません。

※注2 「学習未着手」とは、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）がないことをいいます。

なお、この場合のレポート提出がないことは、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されていないことに限ります。

※注3 復籍・再入学においては、修得単位として評価を得られなかった履修途中科目の学習履歴は、復籍・再入学後に引き継がれません（従来どおり）。

## 2. その他

項目	変更内容等
科目の新設	2013年4月から、以下の科目を新設する 「文学概論」 「日本文芸研究特講・上代」 「日本文芸研究特講・言語」 「日本文芸研究特講・韻文」 「日本文芸研究特講・児童文芸」 「日本文芸研究特講・沖縄文芸」 「日本文芸研究特講・特域」 「日本文芸研究特講・日本学」 「日本文芸研究特講・音楽芸能史」 「日本文芸研究特講・祭りと芸能」 「日本芸能史」
専門教育科目の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） <変更前> 必修 40単位 スクーリング必修 8単位 選択 26単位以上 卒業論文 8単位  <変更後> 必修 20単位 選択必修 20単位以上 選択 24単位以上 卒業論文 8単位

## 日本文芸特殊研究読替えパターン（芸能文化コース）

日本文芸特殊研究（古代～現代）は今まで修得した単位の時代は問わず（日本文芸作品作家研究の単位には充当せず）、下記の表のとおり読替える

### 1. 卒業判定時に最大8単位分を、新設必修科目「日本芸能史」「日本美術史」、新設選択科目「文学概論」、選択科目「日本文芸史Ⅱ」の順に読替える（日本文芸特殊研究の、どの科目も同様）

- (1) 卒業判定時までに新設必修科目「日本芸能史」「日本美術史」を修得していない場合

日本文芸特殊研究 (古代～現代) 修得単位	日本芸能史 (4単位)	日本美術史 (4単位)
2単位	①	
4単位	①※1	
6単位	①	②
8単位	①	②

- (2) 卒業判定時までに「日本芸能史」を2単位修得した場合

日本文芸特殊研究 (古代～現代) 修得単位	日本芸能史 (4単位)	日本美術史 (4単位)	文学概論 (4単位)
2単位	★ ①		
4単位	★ ①	②	
6単位	★ ①	②	
8単位	★ ①	②	③

- 4単位修得した場合

日本芸能史 (4単位)	日本美術史Ⅱ (4単位)	文学概論 (4単位)
★	①	
★	①	
★	①	②
★	①	②

- (3) 卒業判定時までに旧カリキュラムで「日本美術史」を2単位修得している場合

日本文芸特殊研究 (古代～現代) 修得単位	日本芸能史 (4単位)	日本美術史 (4単位)	文学概論 (4単位)
2単位	①	★	
4単位	①	★	
6単位	①	★ ②	
8単位	①	★ ②	③

- 4単位修得した場合

日本芸能史 (4単位)	日本美術史 (4単位)	文学概論 (4単位)
①	★	
①	★	
①	★	②
①	★	②

※旧カリキュラムで「日本美術史」を未修得かつ、卒業判定時までに「日本美術史」を修得した場合も考え方は同様

履修科目・状況により、読替え内容が異なるが、考え方としては、(1)～(3)のパターンと同様

## 2. 日本文芸特殊研究（古代～現代）を8単位を超えて修得した場合、選択必修科目、選択科目へ読替える

卒業判定時まで「日本芸能史」「日本美術史」「文学概論」「日本文芸史Ⅱ」を各4単位修得した場合

日本文芸特殊研究 （古代～現代）修得単位	日本芸能史 （4単位）	日本美術史 （4単位）	文学概論 （4単位）	日本文芸史Ⅱ （4単位）	選択必修科目 （20単位）	選択科目
2単位	★	★	★	★	2単位	
4単位	★	★	★	★	4単位	
6単位	★	★	★	★	6単位	
8単位	★	★	★	★	8単位	
10単位	★	★	★	★	10単位	
⋮	★	★	★	★	⋮	
20単位	★	★	★	★	20単位	
22単位	★	★	★	★	20単位	2単位
24単位	★	★	★	★	20単位	4単位
26単位	★	★	★	★	20単位	6単位
28単位	★	★	★	★	20単位	8単位

※1 例) 新設必修科目を修得しておらず、「日文特研（古代～現代）」を4単位修得している場合は、「日本芸能史」の4単位に算入する

※2 ○の中の数字は読替えの優先順位

※3 ★は修得済単位

## 3. 28単位を超過した単位は卒業所要単位に算入しない（現行のとおり）